

船舶におけるバイオ燃料取り扱いガイドライン策定検討会の開催について

1. 背景・目的

国土交通省海事局は昨年 4 月に「内航カーボンニュートラル推進に向けた検討会」を設置し、有識者や業界関係者とともに今後の取組方策等について、検討を行ってきた。昨年末には「とりまとめ」を公表し、その中では、既存船における省 CO₂ 対策として、バイオ燃料の活用に向けて、船用エンジンにおける燃焼性、混合安定性、部品腐食などの技術的課題の有無を把握・検討しておくことが重要である旨の方針を示している。

このため、上記技術課題の検討を行い、関係事業者が安全かつ円滑に船用バイオ燃料を取扱うことを可能とするためのガイドラインの案を取りまとめることが必要である。

2. 検討内容

- ・バイオ燃料の船用燃料利用可能性、諸外国の活用状況、他モードにおける活用状況等の整理
- ・陸上試験及び実船試験方案の検討
- ・上記試験を通じた課題の抽出、対応策の検討
- ・ガイドライン案の検討

3. 検討会の構成

- ・学識経験者
- ・船用工業事業者
- ・バイオ燃料供給事業者
- ・鉄道・運輸機構
- ・海上技術安全研究所
- ・その他検討に必要な者

4. スケジュール等

令和 4 年度内でのとりまとめを目指す。

また、令和 4 年中に開催を予定している「内航カーボンニュートラルの推進に向けた検討会」に検討状況・結果について適宜情報共有を行う。